

かめやま教育通信

第50回



レバー式水栓

小・中学校における新型コロナウイルス感染症対策について

学校は、子どもたちが多数集まり、長時間行動を共にする場所です。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために、学校では、3つの密(密閉、密集、密接)を避けるとともに、次のような取り組みを行っています。

手洗い

接触感染を防ぐため、石けんを使ってこまめに手を洗うことが重要です。細菌やウイルスは、手の内側に付着する機会が多いため、手洗い時に手のひらを使わずに水栓の操作ができるように、水栓のハンドルをレバー式に交換し、プッシュ式のハンドソープを配置するなどの対策を行っています。また、手指用のアルコール消毒液も各教室に配置しています。



足踏式アルコール消毒液スタンド

消毒・滅菌

大勢の人が手を触れるドアノブや手すりなどは、アルコールや次亜塩素酸ナトリウムなどの消毒液を使用し、スクール・サポート・スタッフ、学校職員やボランティアの方々によって消毒を行っています。また、健康診断に使用する歯鏡・鼻鏡などの器具は、高圧蒸気滅菌器を使用して滅菌を行っています。



高圧蒸気滅菌器による滅菌作業



赤外線サーモグラフィカメラ

検温

児童・生徒および教職員は、毎朝の体温測定と健康状態の確認を行っています。必要に応じて非接触式体温計で検温を行っています。また、来校者の出入りが多い学校行事などでは、赤外線サーモグラフィカメラを使用して検温を行っています。

卓上シールド

令和2年6月に児童・生徒用の机に卓上シールドを設置し、学校活動の再開に役立ててきました。子どもたちの心理的な安心感は、近隣自治体と比べて高いことが示されたところですが、毎日の消毒や視界の妨げになるなどの課題に加え、「最近の研究結果では感染予防効果は限定的である」との専門家の見解により、本年度以後は新たな配備を行いません。



卓上シールド

令和2年度は、市内の全小・中学校で運動会(体育祭)や修学旅行を実施することができました。社会全体の感染リスクが下がれば、学校内の感染リスクも下がります。マスクの着用やこまめな手洗い、人混みを避け、部屋の換気をするなど、基本的な感染対策を心掛けましょう。

問合せ先 教育委員会事務局教育総務課保健給食グループ(☎84-5073)